

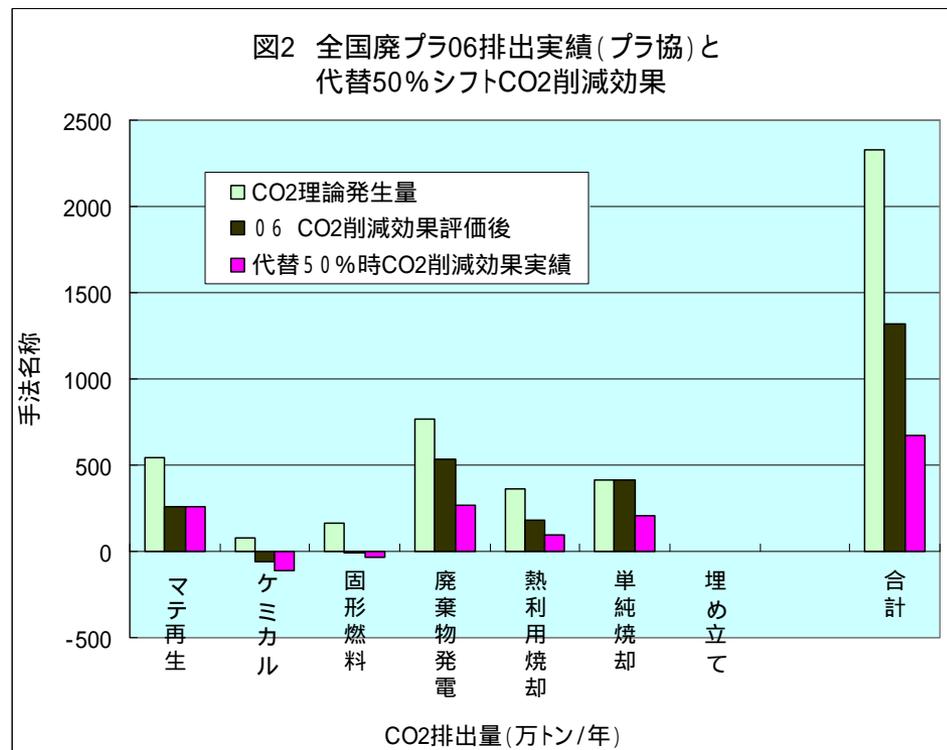
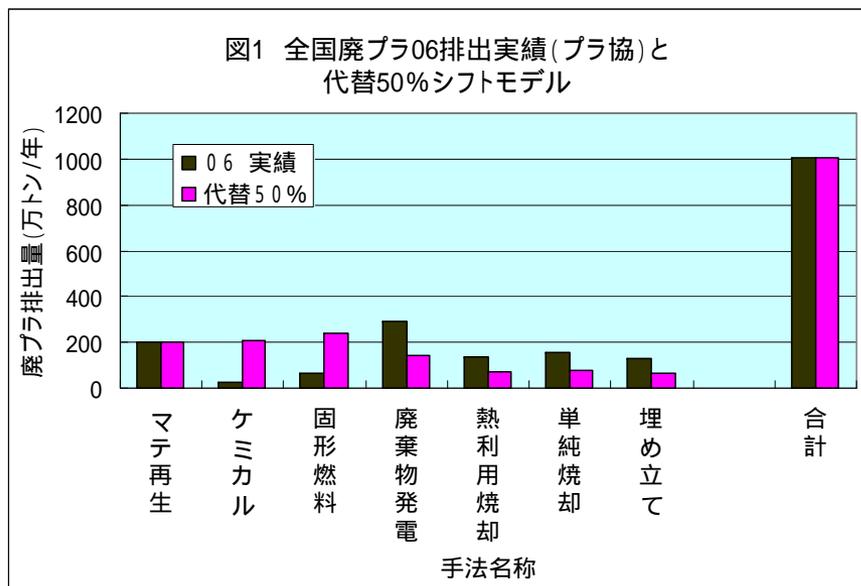
プラスチック廃棄物のCO₂削減シュミレーション

- P1 プラスチック廃棄物の全国排出実績とCO₂削減シュミレーション
- P2 参考1 各手法のCO₂削減効果の算出前提について
- P3 参考2 2006年度プラスチック製品・廃棄物・再資源化フロー
- P4 参考3 最近の自治体の動き

プラスチック廃棄物の全国排出実績とCO₂削減シュミレーション

* 06年度の全国廃プラ排出量とCO₂削減効率向上を目的としたシフトモデルを図1に示す。

* シュミレーション結果を図2に示す。



kg - CO₂/kg プラ

	樹脂代替	ケミカル	固形燃料	廃棄物発電	熱利用焼却	単純焼却	埋め立て	
CO ₂ 発生原単位	同左						2.652	0
CO ₂ 削減原単位	-1.4	-3.2	-2.8	-0.8	-1.32	0	0	

* マテ再生の製品特性によるCO₂削減効果は検討を要する。

< 結論 >

図1に示すシフト(350万トンを代替原燃料へ)が起こると、

約700万トン/年のCO₂削減効果を発揮する。

参考1 各手法のCO₂削減効果の算出前提について

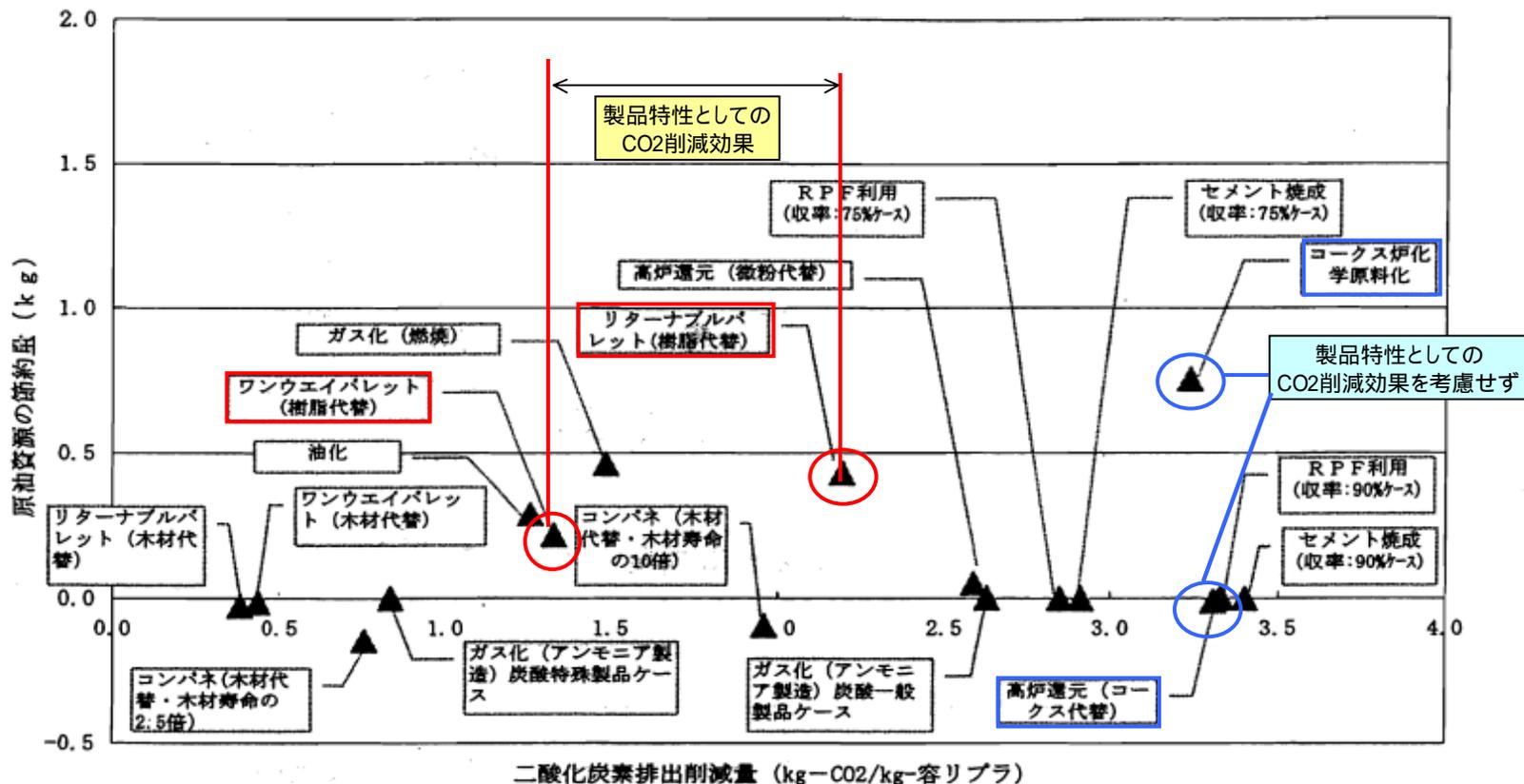


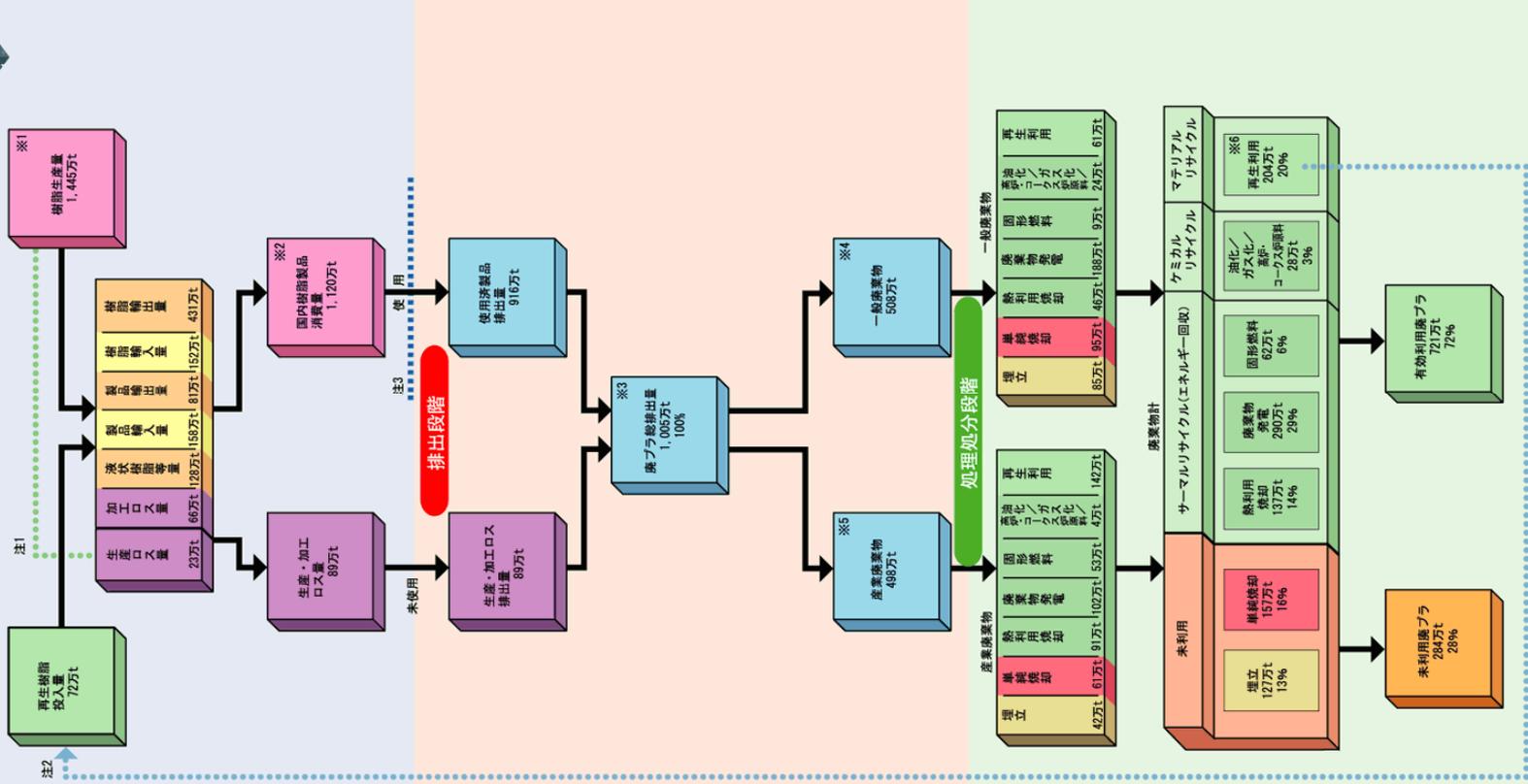
図 5-14 二酸化炭素排出削減効果と原油資源の節約効果

注) 各軸のプラスは資源の節約、二酸化炭素の排出削減量を示す。ガス化(アンモニア製造)に関しては炭酸が広く流通している場合(一般製品)と、本施設が供給する施設で利用できない場合、大気に放出するしかなくなるケース(特殊製品ケース)を想定

出典: 容器包装再商品化手法に関する環境負荷検討委員会 平成19年6月
(財)日本容器包装リサイクル協会

参考2

プラスチック製品・廃棄物・再資源化フロー図(2006年)



注1 生産ロス量は樹脂生産量の外数である。
 注2 再生樹脂投入量は前年の再生利用量(85万t)から輸出分(16万t)とOPETボトルから繊維に再利用されたと6万tを差し引いた量を当年の量とした。
 注3 使用済製品排出量は需要分野別使用量(過去5年間の各年使用量)及び需要分野別製品寿命(15年間の排出モデル:当協会策定)から当期推計システムで算出した。
 注4 四捨五入による数値の不一致は一部存在する。
 ※1-6は次のページに対応する。

出典: (社)プラスチック処理促進協会 ホームページ <http://www.pwmi.or.jp/>

参考3 自治体の動き

全プラスチック回収へ 資源ごみとして再利用 港区、来月から

= 東京2008/09/12, , 東京読売新聞 朝刊, 33ページ, , 584文字

港区は、10月からすべてのプラスチックを資源ごみとして回収する。容器包装リサイクル法で定められているプラスチック容器以外のものも資源ごみとして回収するのは、23区で初めての取り組みという。11日の定例記者会見で武井雅昭区長が発表した。

リサイクルは2通りの方法で実施する。容器法で再利用が求められているシャンプーなどの空き容器、菓子の空き袋などは収集後、国の指定事業者処理を委託し、その他のプラスチック製品は別の業者により化学原料として再利用する。区は今年度、約3億4000万円の予算を組んだ。

区清掃リサイクル課によると、同区の昨年度の不燃ごみ約1万4240トンの半分がプラスチック。資源ごみとして再利用することで、収集するごみの量が約10%削減され、最終埋め立て処分場の延命にもつながるといふ。

プラスチックを資源ごみで収集 名古屋市、10年度にも

= 愛知2008/10/07, , 中部読売新聞 朝刊, 27ページ, , 160文字

名古屋市の松原武久市長は6日の定例記者会見で、不燃ごみとして処理しているバケツやハンガー、歯ブラシなどのプラスチック製品を、2010年度にも容器包装と同様に資源ごみとして収集する方針を明らかにした。

市は来月、それらのプラスチック製品を容器包装のプラスチックと一緒に収集できるよう、全国で初めて構造改革特区を申請する。

容器包装リサイクル制度参加自治体

= 日本容器包装リサイクル協会HPより

平成20年度参加市町村数/全国自治体数 = 990/1795 = 参加率55% (人口では約70%)

平成20年度の入札量は66.8万トン。依って、残りは約30万トンと推計される。